

3 造成土地管理事業の概要

本県では、半世紀以上にわたる土地関連事業を通じ、約14,000ヘクタールの土地を造成し、臨海部を中心とした工業用地や数多くの内陸工業団地など産業基盤を整備するとともに、「職・住・学・遊」の複合機能を備えた幕張新都心や豊かな自然環境と住環境を併せ持つ千葉ニュータウンなど特色ある街づくりに取り組んでまいりました。

土地造成整備事業の収束に伴い、造成土地管理事業では、令和3年3月末現在で保有する未処分土地176ヘクタールの分譲を推進するとともに、約70の事業所に幕張ベイタウンにおける住宅用地や県内各地で商業・工業用地などを貸し付け、地域経済の発展に貢献しているところです。

特に、幕張新都心では、幕張ベイパークのまちづくりやJR京葉線の新駅整備などが進みつつあり、まち全体の更なる発展が期待されるところです。

今後も、令和3年3月に策定する「千葉県造成土地管理事業経営計画」に基づき、経営の一層の健全化を図りつつ、地域の一層の発展につながるまちづくりを推進してまいります。

幕張新都心全景



幕張の浜・幕張海浜公園・ZOZOマリスタジアムをはじめ、幕張メッセ等の国際的な業務機能、本社機能、研究開発機能が集積する業務研究地区及びホテル・商業施設が立地するタウンセンター地区。

柏の葉キャンパス駅周辺



マンション・商業・サービス施設や東京大学・千葉大学などの学術研究機能の集積が進んでいます。つくばエクスプレスで秋葉原から30分。



千葉ニュータウン中央駅周辺

北総線で都心へ直結し、日本橋まで約40分。「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」など、各種機能の複合した総合的な都市として発展。